

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

172号

★ 2015年8月24日

★ 常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 中央図書館の説明 —平和公園近辺はびっくり—

平和公園近辺住民への説明は8月3日(月)に初めて！行われました。

殆どの住民は平和公園への移転を初めて知ったということで、私達が懸念していたように、区民の意向を軽視したやり方に、戸惑いや怒りを覚えたようでした。

特に平和公園ができるについては、国有地(旧教育大学学生寮)を板橋区の公園にするよう、16万人の署名を集めた人たちが、どんなに苦労したか、現在様々な行事や日常生活にどんなに必要欠くべからざる存在となっているかを聞かせてくれました。早くも絶対反対を宣言した人もいて、区の思惑どおりにはいかないようです。

しかし、様々な観点から平和公園に中央図書館をと方針を決定したのですから、住民の意見を取り入れた計画に変更し、粘り強く説得するほかは無いでしょう。区民の声はこの計画の中で、今に至るまで全く考慮されていません。計画変更を住民の声に負けたというように捕らえているのではないかと推察しますが、まったく逆で、区民の声の尊重こそが評価されるのですから、変更を嫌がらず恐れず、取り組んでほしいものです。検討会ができたそうですが、そこに住民が不在で、傍聴も不可と云う姿勢でよいのでしょうか

9月7日(月)18時30分～常盤台地域センターで、8月3日に続く地元説明会があるそうです。

常盤台の跡地利用については説明のし直しを求める声があり、平和公園側への説明会以降にまたこちらでの説明会があるということです。こちらも後手にならぬよう願います。

○ ときわ台駅80周年記念展 10月1日(木)～6日(火) 於「ギャラリー服部」

今年の10月、ときわ台(旧武蔵常盤)駅が80歳を迎えます。それを記念して上記の展示を企画します。

1935年(昭和10年)東武鉄道が常盤台の住宅地を分譲販売するために建てられた駅で、当時とほぼ同じ様子で、今も私達を送り迎えしてくれています。

その2年前の1933年、東武宇都宮線では南宇都宮駅が建ちました。宇都宮産の大谷石を使った瀟洒な駅で、ときわ台駅と同じように今も現役で頑張っています。

最近同じデザインであることが分かってきた両駅を中心に、写真などを展示します。

南宇都宮駅バスツアー

南宇都宮駅を実際にこの目で見ようと、8月2日、守る会の企画で十数人の住民が1台のバスを仕立てて見に行ってきました。

まさしく常盤台駅とそっくりな建物で、こちらが青い屋根瓦であるのに対し、南宇都宮駅は茶色系統の屋根瓦で、側面の波型と点の連続模様まで同じでした。

近くには大谷石の倉庫があり、今はバレーのスタジオや喫茶店に使われていました。ツアーでは松が峰教会の壮麗な建築美に感嘆し、大谷資料館では地下深く涼しい思いをし、宇都宮名物の雷と夕立を体験、ギョウザを堪能した組も、大谷石倉庫を利用したレストランで食事した組も、大満足して帰りました。

10月の記念展は乞うご期待です！

家の交換

高齢になると一軒家を維持していくのが重荷になる場合があります。マンションは上階だと地震などの災害の時困りますが、高齢者にとってはコンパクトで便利かもしれません。一方、子育て世代では、子どもをのびのび育てたいのにマンションでは庭を駆け回ることもできず、転落事故も心配です。そういう二大家族が互いの家を交換した例が実際にあります。戸建住宅地を保つ方策として考えてはどうでしょうか。

言葉の幾つか (5)

* 父兄

日本や韓国では、いまだに儒教や儒教的価値観が根を下ろしていて、孔子や孟子の教えは尊敬されているように思われます。教科書にも無批判のまま論語が載っています。

戦後、「父兄」と言う言葉は、学校関係者もマスコミ関係も自戒し、「父母」や「保護者」を使うようになっていました。しかし、なぜこの言葉が避けられるようになったか、きちんと教育していないと、またぞろ何気なく日常の中で使われてしまいそうです。テレビで「父兄会」が使われていたのに愕然としました。

「父兄」は「子弟」に対応した語で、どちらも男性のみを対象として認めた語です。儒教では女性は男性と対等ではありません。よい教えも中にはあるとは思いますが、少なくとも男尊女卑だけは排除しなければなりません。

新国立競技場

二千五百億円とは、どのような規模なのか、我々庶民には見当がつかないのですが、例えば、最近のオリンピック会場四つ（シドニー・アテネ・北京・ロンドン）の建設費の合計額より上なのだそうです。また、ギリシャがEUに借りているお金が払えてしまつたというのですから驚きです。

森元首相はこれくらい日本が出せないのか、とのたまいましたが、年金も減らされ、復興税やら介護税やら払わされている国民や、いまだに復興できずにいる東北の被災者の実態を知らなさ過ぎます。そんなに太っ腹なら私費で出したら如何かと言いたくなります。

東京オリンピックピック招致に執着したのは石原元都知事でしたが、「みんなでいい夢を見よう」などと言っていました。みんなとは彼の身近にいる一握りの人達なのでしょう。この何倍にも膨れ上がった経費計上の途中に、誰がどのように関わったか明らかにすれば、国民の税金で「いい夢」を見ようとした人達がわかるはずです。しかし、同じメンバーがいくら検証しても明らかにするはずはありません。

憲法カフェ

伊藤朝日太郎（ちよつと変った名前です）さんの憲法についての解説が好評です。ごく初歩の質問でも丁寧に受け止めてくれます。

九月三日（木）一時半

南常盤台集会所

常盤台公園のはなづくり

酷暑です。板橋四丁目では三姉妹が、熱中症で死亡する痛ましい事件がありました。主義や嗜好や生活習慣に多少合わなくても、生命維持にエアコンは必要な道具となりました。

人間が命の危険を感じるくらいなので、すから、植物も枯れたりするのは当然です。花壇の水遣りはTさんが朝早くや夜遅くにやってくれます。多くの人は自分の家の植物に水撒きするだけでぐったりしてしまい、公園の草花にまで手が届かないのが実情です。

そんな時、たまに夕立があると、草木もいかにホッとした様子で雨を浴びています。

花壇の花は植え替えたいような状態ですが、この暑さの中では、同じことになりそうのためらっています。三丁目の苗屋さんも、八月はお休みのようです。

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものですが、九月のはじめまではまだまだ残暑があります。どなたも水分と栄養の補給に気をつけて、乗り切ってください。